

報道関係各位

2012年1月6日

一般社団法人TransferJet コンソーシアム

TransferJet コンソーシアム が新たな拡張規格を発表

一般社団法人TransferJet コンソーシアム は、リンクプロテクションと著作権保護システム (DRM)に対応する拡張規格を策定。ホームネットワークとの接続も可能に。

TransferJet コンソーシアムは、IPベースのホームネットワーク上でのデータ転送や、著作権対応の商用コンテンツを扱う為の新しい機能を規格化しました。TransferJet コンソーシアムでは2009年に最初の規格を発行しており、その後機能拡張に向けて取り組んできました。今回の拡張により、プロトコル変換層に3つの新規格が追加され、*TransferJet* コネクションレイヤーのデータをシリアル、SD over SCSI、PTP/MTPのプロトコルへそれぞれマッピングします。更に4つ目の規格として、IPストリームを扱う機能が2012年の第一四半期に完成予定です。これによって、著作権で保護されたコンテンツをDTCP-IPを使ってホームネットワーク機器に転送することなどが可能になります。コンソーシアム会員はこれらの追加規格を使ってより広範囲な用途に向けた商品開発を行うことが可能になりました。

この新規格は*TransferJet*無線技術のアプリケーションを増やし、ユースケースを広げます。ホームネットワーク内にある機器をシームレスにつなげたいというユーザーの期待をかなえることができるからです。更に、保護された商用コンテンツをインフラから配信したり、デバイス間でやりとりすることができるようになることから、サービス提供者、コンテンツオーナー、そしてデバイスメーカーなどにも恩恵をもたらします。これらはユーザーエクスペリエンスを飛躍的に拡大させ、*TransferJet*対応機器とシステムの価値を高めることでしょう。

一般社団法人TransferJet コンソーシアムについて

TransferJet コンソーシアムは、*TransferJet* 無線技術を適用した製品の開発やサービス事業などを行う国内外の企業が集まり2008年に発足した団体です。2011年9月1日付で、任意団体より一般社団法人になりました。主な活動内容として、*TransferJet* 無線技術の規格策定、相互接続環境の開発、互換接続試験及びロゴ認証プログラムの運営、*TransferJet* 無線技術の普及に向けた各種広報活動を行っています。

団体の詳細については、コンソーシアム公式サイト (www.transferjet.org/ja) もご参照ください。



TransferJetコンソーシアム プロモータメンバー会社一覧
(2011年12月現在、アルファベット順)

<Promoters>

キヤノン株式会社
カシオ計算機株式会社
株式会社日立製作所
株式会社JVCケンウッド
KDDI株式会社
株式会社ニコン
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
オリンパスイメージング株式会社
パナソニック株式会社
パイオニア株式会社
SAMSUNG ELECTRONICS CO. LTD.
セイコーエプソン株式会社
ソフトバンクモバイル株式会社
ソニー株式会社
Sony Ericsson Mobile Communications
株式会社東芝

* *TransferJet*および*TransferJet*ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

[本案内に関する問合せ先]

TransferJet コンソーシアム事務局

<https://www.transferjet.org/ja/inquiry/index.html>